

保育所の自己評価結果

- 目標設定
- ① 大きなケガの発生防止  
⇒ 骨折事故 2件発生のうち、手術入院を要する眼窩底骨折を発生
  - ② 保幼小連携による活動  
⇒ 新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、十分な活動ができなかった。
  - ③ 療育施設との連携  
⇒ 療育施設/みらい・さくら館と対象児4名を連携して支援した。

	自己評価の観点	内 容	評 価 項 目	Yes	No
I 保 育 理 念	子どもの最善の利益の考慮 (1)子どもの人権の尊重	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの人権に十分配慮すると共に文化の違いを認め互いに尊重する心を育てる</li> <li>・性差への先入観による固定的な観念や役割分業意識を植え付けないよう配慮する</li> <li>・保育中の子どもの人格尊重を意識している</li> </ul>	①子どもが自分の思いや意見を、はっきり言うことができるように配慮しまた、それを尊重している	○	
			②一人ひとりの子どもの心身の状態、生活習慣や文化、家庭の事情、考え方などの違いを知り、それを尊重する心を育てている	○	
	(2)保育方針・保育目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本方針に基づき、作成している</li> <li>・保育方針・目標を明文化している</li> <li>・保育方針・目標を職員や保護者などに周知するための取組みを行っている</li> </ul>	①子どもの態度、服装、遊びなどで性差への先入観による固定的な対応をしないように配慮している	○	
			①保育者は、子どもの人格尊重を絶えず意識して保育を行っている	○	
			①方針・目標の作成に当っては、職員が参加している	○	
			②地域の実態や保護者の意向などを考慮して、作成している		×
			③方針・目標を保護者に説明している	○	
			④各年齢の子どもの発達状況にあった指導計画となっている	○	
			①保育理念を年度初めに職員で確認している	○	
			②基本方針は、職員の行動規範となるよう具体的な内容となっている	○	
	①職員や保護者などに見やすい場所に掲示している	○			

II 子どもの 発達 援助	1. 子どもの福祉を増進することに最もふさわしい生活の場				
	(1) 健康・安全で心地よい生活	・子どもの健康管理は、子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施している	①健康にかんするマニュアルがあり、職員は活用している	○	
	(2) 子どもの主体的な生活	・子どもの個性を生かした保育内容にして、押しつけをしない	②マニュアルに基づき、保護者への感染症の予防策及び対応について連携している	○	
	(3) 人との関わりを育む環境	・子ども一人ひとりへの理解を深め、受容しようと努めている	①行事などで、子ども達が主体的に地域の人に接する機会を作っている		×
			②様々な素材を使って、描いたり、作ったり、自由に表現できるようにしている	○	
			①子どもに分かり易い温かな言葉使いで、穏やかに話している	○	
			②子どもの要求や訴えに対して、子どもの気持ちを受け止め状況に応じた対応をしている	○	
		・子どもが基本的な生活習慣を身につけ、積極的に活動できる環境が整備されている	①基本的な生活習慣や成長・発達に関しては、一人ひとりの子どもの状況に応じて対応している	○	
	2. 生活と発達の連続性				
	(1) 子ども観・発達観の理解と共有	・乳児保育のための環境を整備し、保育の内容や方法に配慮をしている	①離乳食については、家庭と連携をとりながら、一人ひとりの子どもの状況に配慮して行っている	○	
	(2) 発達過程に応じた保育	・各年齢の子どもの発達状況、生活状況の記録がある	①其々の子どもに関する情報を周知している	○	
	(3) 個人差への配慮	・個人を尊重し、無理な保育の内容や押しつけの保育の内容にしていない	①一人ひとりの生活リズムに合わせて、環境を整備し、落ち着いた静かな空間が確保されている	○	
(4) 生活の連続性	・遊びや生活を通して、人間関係が育つようにしている	①喧嘩の場面では、危険のないように注意しながら、子ども達の自立性を尊重し、子ども同士で解決するように見守っている	○		
		②順番を守るなど、社会的ルールを身につけて行くように、配慮している	○		
		③少しでも社会性に慣れるように、異年齢の子ども達や様々な年齢層の人達と交流している	○		
3. 養護と教育の一体的展開					
(1) 主に乳児保育における養護と教育の一体的展開	・乳児保育のための適切な環境が整備され、保育の内容や方法に配慮されている	①心身の未熟さへの配慮・適切な判断と保健的対応ができています	○		
		②生育歴の違いに留意、特定の保育士が応答にかかわっている	○		
		③職員間の連携・嘱託医との連携、専門性を生かした対応ができています	○		
		④保護者との信頼関係、保護者への支援ができています	○		

II 子どもの 発達 援助	(2)1、2歳児の保育における養護と教育の 一体的展開	・1/2歳児の保育において養護と教育の一体的 展開がされるような適切な環境が整備され保育の 内容や方法に配慮されている	①感染症への予防・対応ができています	○	
			②基本的な生活習慣の形成への配慮と自発性の尊重ができています	○	
			③自我の育ちの見守りや友達同士の気持ちや関わり方を丁寧に 伝えている	○	
			④情緒の安定を図りながら、自発的な活動を促して行く	○	
	(3)3、4、5歳児の保育における養護と教育の 一体的展開	・3歳以上児の保育において養護と教育の一体的 展開がされるような適切な環境が整備され、保育の 内容や方法に配慮されている	①自己を十分に発揮して活動を通して、やり遂げる喜びや自信が持てる ように指導している	○	
			②戸外活動などより、身体の諸機能の発達が促されるように 指導している	○	
			③けんかなど葛藤を経験しながら次第に相手の気持ちを理解し互いに 必要な存在であることを実感できる	○	
			④生活や遊びを通して、決まりがあることの大切さに気づき自ら判断して 行動できるようになる	○	
			⑤自然とのふれあいにより感性・認識力・思考力・表現力が培われること 自然との関わりを深める工夫がされている	○	
	4. 環境を通して行う保育				
(1)保育の環境(人的、物的環境、空間、 自然や社会事象等)	・子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備 している	①園内の清掃がなされ、清潔に保たれ、子どもが心地よく過ごせる	○		
	・生活の場にふさわしい取り組みを行っている	②屋内外の衛生面、安全面に配慮がされている	○		
	・身近な自然や社会とかかわれるような取組がなされている	①生活の場に合った音楽など音の配慮ができています	○		
	・長時間保育のための環境が整備され、保育の内容や 方法に配慮が見られる	②園内外に子ども達が季節感を感じられる工夫がしてある	○		
(2)環境の構成・再構成		①身近な生活体験の中で、命の大切さや季節感など、豊かな感性を 育むようにしている	○		
		①長時間保育の子どもへの保育内容及び体制が整っている	○		
		②障がいを持つ子の関係機関、医療機関等への連携が図られており、 また、必要に応じて助言・援助を受けている	○		

Ⅲ 保 護 者 に 対 す る 支 援	1. 家庭との緊密な連携				
	(1) 子どもの成長の喜びを共有	・保育内容(行事を含む)など子どもの園生活に関する情報を提供している	①「園だより」や「クラスだより」など定期的に発行している	○	
			②クラス毎の保護者会・懇談会などで、保育内容・目的をわかり易く説明している		×
	(2) 保育内容等の説明・応答責任	・子どもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通理解を得るための機会を設けている ・保護者の保育参加を進めるための工夫をしている	①保護者会・懇談会などを定期的に開催し、保護者と共通理解を得るための機会を設けている		×
			①予め年間行事の日程を知らせ、保護者が保育参加の予定を立て易くしている		×
			②保育参加・保育参観の機会を随時受け入れている		×
	(3) 子育てに関する相談・援助	・家庭の情報や情報交換内容が必要に応じて記録されている	①個別面談記録をとっている	○	
			②家庭の状況や保護者との情報交換が、必要に応じて、関係職員に周知されている	○	
		・虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見に努めている	①保育者は、日常保護者や子どもの様子を注視し、虐待の予防や早期発見に努めている	○	
	(4) 保護者への個別支援	・家庭と子どもの保育が密接に関連した保護者支援を行っている	①送迎の際の対話や連絡帳への記載などの日常的な情報交換に加えて別に機会を設けて、相談に応じたり個別面談を行っている	○	
	2. 地域における子育て支援				
	(1) 保育所機能の開放	・育児相談やふれあい体験保育など地域の子育て家庭を対象とする子育て支援のための取り組みを行っている	①いつでも育児相談ができる体制が整っている	○	
			②リーフレットやポスターなどを作成し、積極的に子育て情報の提供をしている	○	
			③地域における子育てニーズを把握して、子育て支援を実施している		×
	・保育園の活動や行事に地域の人々の参加を呼び掛けるなど、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している	①子どもが職員以外の人々と交流できる機会を設けている		×	
		②ボランティア・体験保育の人々を積極的に受け入れている		×	
		③他の保育園と交流する機会を設けている		×	
(2) 関連機関との連携	・小学校との連携や就学を見通した計画に基づいて保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮されている	①保護者が就学に向けての子どもの生活について見通しを持てるように配慮されている	○		
(3) 情報提供	・近隣の人々に保育について理解を得たり、協力依頼をするなどの配慮をしている	①園外向けの掲示板やポスター等で園の様子や行事などについて、地域の人々に見て貰えるようにしている	○		
		②地域の人々に向けた保育園や子どもへの理解を得るための日常的なコミュニケーションを心掛けている	○		

IV 保育を支える組織的基盤	1. 健康及び安全の実施体制 (1) 健康の保持及び増進	・定期健診(歯科・医療)及び身体測定	①全員の受診、健康管理	○	
		・担当医との連携・情報交換	①病後登園時には、登園許可書を発行し、健康状態を確認する	○	
	(2) 安全・衛生管理	・事故や災害に適応できるマニュアルがあり、全職 周知されている	①マニュアルは、全職員が直に手に取り、見ることができるところにある	○	
			②外部からの侵入に対する対応を実施している	○	
		・事故防止のための具体的な取り組みを行っている	①事故防止、安全管理のためのチェックリストが作成されている	○	
			②定期的にチェックが行われている	○	
		・調理場、水周りなどの衛生管理は、マニュアルに 基づいていて、適切に実施されている	①日頃からチェックリストを使用した点検・確認等が行われている	○	
	(3) 家庭や保険・医療機関等との連携	・安全管理のマニュアルがあり、事故や災害に 備えた安全対策が実施されている	①緊急時に慌てず、対応できるよう、医療機関等の連絡先が 掲示してある	○	
	2. 職員の資質の向上 (1) 保育の計画	・保育の質の向上や改善のための取り組みを 職員参加により行っている	①保育の質の向上や改善のための取り組みについて、意図的・計画的に実施している	○	
	(2) 保育士等の自己評価	・保育の質の向上や改善のために、定期的に自己 評価を行っている	①自己評価の結果について、記録に残し振り返りに生かしている	○	
	(3) 保育所の自己評価	・保育の課題について、把握し計画的な取り組みを 行うと共に、定期的に検証・見直しをしている	①保育士の自己評価及び保育所の自己評価を元に振り返り、計画立案を実施している	○	
	(4) 研修	・職員の研修ニーズを把握して、職員に適切な 研修機会を確保している	①各職員について、適切な研修機会の確保を行っている	○	
			②園内研修を行っている	○	
	3. 運営・管理・社会的責任 (1) 法令等の遵守	・守秘義務の遵守を全職員に周知している	①保育業務の中で、知り得た子どもや家庭に関する秘密の保持について、 全職員に周知し、守られている	○	
	(2) 個人情報の取扱いと苦情解決の責任	・情報の取扱い規程が整備されている	①保護者や地域の人からの相談事項について、プライバシーの保護、 話された内容の秘密保持を徹底し、守られている	○	
	・苦情処理の窓口は、明確でシステム化している	①処理業務がタイトすることなく、円滑に処理できている	○		
(3) 施設長の責務	・経理面について、効率的に運用されている	①各種会計を定期的に処理し、透明性が確保されているか	○		
	・保護者間で子育て支援ができています	①子育て支援のための保護者とのコミュニケーションが十分にとれており 経過内容も記録されている	○		

IV 保育を支える組織的基盤	(3)施設長の責務	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設間の交流・連携がなされている</li> <li>・幼稚園、小学校など他機関との連携</li> <li>・地域における子育て支援</li> </ul>	①施設長どうしが合同研修などを行い、互いの保育・教育について、理解を深め共通認識を図っているか	○	
			①日常的に情報を交換して、交流活動に生かしている	○	
			①地域の行事に積極的に参加し、地域の文化や伝統に触れる活動をしている		×